

フレッシュミズの会長 活動の柱は「楽しさ×農業」



砂糖の消費拡大を目的にしたケーキのデコレーション講座

概ね20～40代の女性農業者や男性農業者の配偶者でつくる「JA北いぶきフレッシュミズ妹背牛支部」の会長として、メンバーと一緒に楽しく集まれる活動を年5回ほど計画しています。



このほか、コープさっぽろの産地指定を受けている妹背牛町への農業体験に協力し、生産者の立場から、札幌圏の消費者にお米の大切さを伝えていきます。

6月28日に行ったケーキのデコレーション講座は、家族にかわいらしいスイーツを食べてもらいたいお母さんたちの意見と、JAグループ北海道が砂糖の消費拡大・イメージアップに取り組むプロジェクトを組み合わせた活動。老舗「大黒屋菓子舗」の方を講師に招き、色とりどりのフルーツを盛りつけたオリジナルケーキを作りました。

現在のメンバーは7人。体験してみたい活動を話し合い、気軽に参加できる体制を整える中で、農業者としての視点も大切にしています。

わたらい まき
渡会 真紀 さん 38歳

- ・秩父別町出身
- ・JA北いぶきフレッシュミズ妹背牛支部の会長
- ・2022年度と24年度にフレッシュミズの会長を務め、「女性農業者の横のつながりを深める」ことをモットーに活動中。

とがりの外国人

ベトナム人の地域おこし協力隊員が町内の外国人を紹介する企画です。

7月14日、妹背牛町教育委員会の町民登山には25人（うちベトナム人11人）が参加し、旭岳を登りました。この日は天気が良くて、山肌が緑色に染まり、花に包まれた登山道を歩くことが出来ました。

参加したベトナム人のほとんどが登山初体験。みんな、すごく楽しみにしていました。何段もの階段を上がることは大変でしたが、友達と励まし合いながら頑張って登りました。山頂に着いたファム ヴァン カインさん（29歳）は「山の風は冷たいので、忘れずに防寒着を持って来て良かったです。山頂からの景色は素晴らしく、とても達成感を得られました」と話しました。

山麓駅に戻った時、美唄市に住んでいるベトナム人の男性は帰りのバスに乗り遅れていました。でも、妹背牛町民の親切な対応で別の方法が見つかり、この男性は無事に帰ることができました。

私は、言葉で言い表せないほどの優しさに感動しました。

夕方18時ごろに妹背牛町に戻って、みんな解散しましたが、思い出は心に残るはず。私にとって、この旅の楽しさは標高2291mの登山ではなく、山頂までみんなと一緒に過ごした時間が何よりも貴重だと思いました。



旭岳の山頂で撮影した集合写真